

12345678

舞台機構設備工事 特記仕様書

第1章 工事概要

1.1 工事名称

京都市立芸術大学 舞台機構追加工事 ＊吊物バトン追加

1.2 工事場所

京都市下京区下之町 57-1 京都市立芸術大学内 堀場信吉記念ホール

1.3 工事項目

・吊物機構設備工事

一式

・操作制御機器

一式

・配管配線工事

一式

1.4 工事区分

工事区分表による。

第2章 工事仕様

2.1 共通仕様

設計図、特記仕様書および現場説明書（質疑回答を含む）に記載されていない事項は以下の共通仕様書の最新版による。

・国土交通大臣官庁官庁宮構部監修の公共建築工事標準仕様書（建築工事編、電気設備工事編、機械設備工事編）

2.2 適用基準

本工事に関連する法令、基準類は、以下による。

・建築基準法

・労働安全衛生法

・電気設備技術基準

・懸垂物安全指針・同解説（（財）日本建築センター）

・建築設備耐震設計・施工指針（（財）日本建築センター）

・吊物機構安全指針・同解説（JATEET：（社）劇場演出空間技術協会）

・床機構安全指針・同解説（JATEET：（社）劇場演出空間技術協会）

・劇場等演出空間電気設備指針（（社）電気設備学会、（社）劇場演出空間技術協会）

・日本産業規格：JIS

・JEC等

2.3 舞台機構機器の強度

舞台機構機器の破壊（機器の一部が破壊する場合を含む）が落下事故等に至る恐れのある機器（またはその部分）は、舞台機構機器静止時（定格積載）に加わる荷重に対し、以下の倍率以上の破壊強度（基準に示される強度または公表値）を有するものとする。詳細は吊物機構安全指針・同解説による。

・鋼材ほか金属材料：4倍（脆性金属にあつては1.0倍）

・ワイヤーロープ、チェーン、油圧ゴムホース：1.0倍

・ロープ（植物繊維製または合成繊維製）：1.0倍

2.4 舞台機構機器のフレーム等の耐力度

舞台機構機器のフレーム、マシンベア、架台等は、以下の耐力度となるよう部材を選定する。また荷重状況、変形、たわみ、屈曲等を考慮し適宜許容耐力度を低減する。

1）建築基準法関連の法令に規定される鋼材及びこれに準ずる鋼材では

・舞台機構機器（定格積載）静止時に加わる荷重に対し：長期許容耐力度以下

・同起動停止時、地震時等に加わる荷重に対し：短期許容耐力度以下

2）上記以外の鋼材、金属材料では

・舞台機構機器（定格積載）静止時に加わる荷重に対し：破壊荷重（基準に示される強度又は公表値）の1/4の荷重に対する耐力度以下。

2.5 塗装

1）フレーム、マシンベア、架台等の塗装

工場において加工又は組立てを終了した部材は、受注者による検査終了後、錆止め塗装、仕上げ塗装を施す。塗装仕様は機器製作者の標準仕様による。但し、現場溶接部まわりは、工場においては塗装せず、現場溶接後同等の塗装をする。

刷毛塗りでは、刷毛目を削え、塗り落ち、たまり、流れ、あわ等の欠点の生じない様に一様に塗る。吹き付け塗装では、吹きむらの無いように塗装する。

2）駆動マシン、減速機、ブレーキ、軸受等の塗装

塗装及び色調は機器製作者の標準仕様による。但し、連結シャフト等の回転部で防護カバーの無い部分は注意表示の為、黄色等の塗装をする。

3）制御盤、操作盤の塗装

制御盤、操作盤の塗装仕様は機器製作者の標準仕様による。塗装色については、発注者と協議のうえ決定する。

4）電気配管塗装

鋼示、舞台箱等の配管（打ち込み配管を除く）は暗色塗装する。配管加工部分は錆止め補修塗装の上、仕上げ塗装1回塗とする。塗装色は隣接部分の関連工事の塗装色と調和をはかる。

5）補修塗装

施工中に塗装のがれが生じた場合は補修塗装する。

2.6 部外者の進入防止と回転部等の保護

機器の回転部、動作部等は操作員、メンテナンス等に危険の少ないよう適切に保護する。ただし下記条件を満たす場合はこの限りではない。

・そのこ：すのこ入り口またはすのこに至る通路を施錠管理する

・迫りマシンスペース：マシンピットに至る入り口を施錠管理する

・網元：フェンス、または移動式扉等を設け、操作時以外は閉鎖する

2.7 建物と舞台機構設備機器との固定

設計用水平地震力は、次に示す設計用標準震度地域係数（通常を1とする）と機器の重量を乗じたものとする。また設計用鉛直地震力は設計用水平地震力の1/2とする。但し、ガイドレール、カウンターウェイトについては、吊物機構・床機構安全指針による。なお、舞台機構設備機器の耐震クラスは「耐震クラスB」を適用する。

詳細は「建築設備耐震設計・施工指針（（財）日本建築センター）」による。

局部震度法による建築設備機器の設計用標準震度

	建築設備機器の耐震クラス		
	耐震クラスS	耐震クラスA	耐震クラスB
上層階、屋上及び塔屋	2.0	1.5	1.0
中間階	1.5	1.0	0.6
地階及び1階	1.0	0.6	0.4

2.8 完成時の検査

1）測定

工事完成時点で、速度または運転時間、電圧、電流等を測定し、記録を提出する。測定に先立ち、受注者の検査部門の検査を済ませた上で試運転を行い、その運転状況を確認する。異常のあった場合は処置を行った上、再度試運転を行う。

2）インターロックの確認

所定のインターロックがとれていることを設定条件毎にインターロックおよびその表示等を確認する。

2.9 特許に関する件

特許の使用に関する費用はすべて受注者の負担とする。この工事に関連して、受注者が特許を申請する場合は発注者と協議する。

2.10 保証期間

引渡し後1ヶ年とし、故障時は無償で修理する。但し、地震等天災又はその他の理由による建築構造上の重大な欠陥が生じた場合はその限りではないものとする。

2.11 その他

設計変更を行う場合、受注者は変更内容を発注者と協議し、発注者が本設計図と同等と承諾した場合は受注者の提案する方式によってもよい。

第3章 機器の性能

機器の性能は設計図に記載ない場合は以下による。

3.1 電動機

機構の用途、荷重、昇降（移動）速度、起動停止制御、速度制御、周囲環境等に適した形式、容量のものを選定する。起動・停止制御、可変速制御等は設計図によるが、特記なき場合は3相交流誘導電動機の直入始動とし、可変速式ではインバータ制御とする。

3.2 減速機

荷重、減速比、使用時の回転数（変速式にあつては回転数範囲）、効率、逆転効率等の適したものを選定する。

3.3 ブレーキ

ブレーキは動作中の装置を適切な減速状態で制動する制動力を備える。静止時には、静止状態を保つために要する力の1.5倍以上の制止力を備える。

ブレーキの保持はスプリングによるなど、動力を必要としない方式とし、電動機の起動停止と連携動作する。

3.4 巻取ドラム

巻取ドラムの直径（ピッチ径）は使用するワイヤーロープのロープ径の3.0倍以上とし、巻取るワイヤーロープに適した溝加工をする。

巻取ドラムの巻溝と巻取るワイヤーロープのなす角度は、4度以下とする。

3.5 枝滑車

用途、荷重に適した滑車をH型钢及び溝形鋼（チャンネル）の滑車ビームにボルト又はクリップ金物等により堅固に据え付ける。滑車のワイヤー溝とワイヤーロープとのなす角度（フリートアングル）は2度以下とする。

ワイヤー溝は使用するワイヤーロープに適した加工をし、その直径（ピッチ径）は使用するワイヤーロープのロープ径の2.5倍以上とする。ただし、ワイヤー受け車等の荷重の支持を目的としないもの及び安全上支障のない用途の滑車ではこの限りではない。

3.6 元滑車

用途、荷重に適した滑車を堅固に据え付ける。滑車のワイヤー溝とワイヤーロープとのなす角度（フリートアングル）は2度以下とする。ワイヤー溝は使用するワイヤーロープに適した加工をし、その直径（ピッチ径）は使用するワイヤーロープのロープ径の2.5倍以上とする。ただし、手動カウンターウェイト式吊物等の元滑車にあつては溝無し滑車としても良い。

3.7 バトン（吊物用パイプ）

用途、荷重に応じて、適切なバトン形式、サイズを選定する。

バトン両端には吊物バトン積載荷重表示指針（JATEET-M-6020）により許容積載荷重及び、バトン名称を表示する。また、緩衝材としてゴムキャップを設ける。

3.8 ワイヤーロープ

ワイヤーロープはJISマーク表示品または、これと同等の製品とする。バトンその他の吊物機構機器等をワイヤーロープにより昇降または吊り下げる場合は、原則として2本以上のワイヤーロープを使用する。ワイヤーロープに加わる荷重は、定格積載の吊物機構静止時において、JIS破断荷重の1/1.0以下とする。

ワイヤーロープとバトン、カウンターウェイトその他の吊物機構機器等との接続は適切な取付金物等を用い、ワイヤーロープの端末はソケット止め、クリップ止め、くさび止め、シンブル付スプライス止め、特殊ソケット止め等の方法により端部を一本ごとに緊結する。

3.9 駆動用ローラーチェーン

舞台機構機器の駆動に使用するローラーチェーンはJISマーク表示品又はこれと同等の製品とし、チェーンに横方向の力が加わらないように適切に使用する。チェーンの使用時の最大荷重は破断荷重の1/1.0以下とする。

3.10 リミットスイッチ、ファイナルスイッチ

リミットスイッチは停止位置、減速開始位置、インターロックのための位置確認等の位置情報を制御回路に入力するために適切なスイッチとする。使用条件に応じ、プランジャ形、ローラーレバ形式のリミットスイッチを、カム、けり金具またはフレーム本体等で動作させる。

ファイナルスイッチは装置が許容される動作範囲の限度を超えた場合に備え、リミットスイッチで規定される動作範囲の外側にファイナルスイッチを設ける。ファイナルスイッチが動作した場合は、制御回路又は装置の電源を遮断し、強制停止させる。ファイナルスイッチ動作後、安全に停止し得る許容動作範囲を設ける。

3.11 制御盤

制御盤は、操作盤（操作部）の操作に対応して、舞台機構機器を適切に起動停止し、インターロックをとり、速度等を制御する。設計図に記載のない場合は、以下の部品を備えて制御を行う。

・電源受電のための端子台

・電源主幹用配線用遮断器（MCCB）

・電磁接触機（MC）

・負荷側回路を保護するための電動機用遮断器（MMCB）

・正転逆転用MC

・操作盤へ動作表示するための制御回路

・リミットスイッチに対応する制御回路

・負荷側制御回路配線用端子台（端子台及び接続する制御配線には番号等を示すマーク付）

・インターロック制御回路

・その他操作盤の操作、表示に対応する制御及び装置の破損を防ぐ制御

3.12 操作盤

安全、適切に操作できる場所に設置する。操作に必要な押釦・表示灯等の配列、表記文字、塗装色等は十分検討した上で、発注者の承諾を受ける。操作、制御部に弱電方式を使用するものにあつては、共通仕様書の制御盤の事項を適用しなくても良い。設計図に記載のない場合は以下の操作表示部等を設ける。

・制御盤受電点に設ける電磁接触器の入・切

・制御電源の入・切のキースイッチ

・機器毎に操作を選択するスイッチ

・昇・降・停止スイッチ又は行先選択と起動・停止スイッチ等

・ファイナル動作表示、ファイナル復帰操作スイッチ

・緊急停止スイッチ

・制御盤内の配線用遮断器等が動作したことを示す表示灯（PL）等

3.13 レベル設定器

レベル設定器は予め入力された位置（設定値）に昇降装置等を自動停止させるものであり各装置毎に個別の操作、表示部をもつものを言い、その仕様は以下による。

1）操作表示部

数値入力操作部（テンキー等）では、所定の昇降範囲内の任意の位置を設定値として入力できる。現在値入力では入力時の装置の位置を設置値に入力する。設計図に指定のない場合、設置値はバトン下端の舞台床面からの高さ、迫り等にあつては迫り床の舞台床面からの深さをcm単位で入力、表示する。

運転方向別の起動ボタンにより起動し、最初に到着する設定値又はリミット位置で自動停止する。設定値運転の他、マニュアル運転スイッチ（設計図等に指定が無い場合は押し切り式）を設ける。表示部は設定値、現在値を表示する。

可変速式吊物装置では、上記に加え、速度の設定・表示に関わる、操作・表示部（操作つまみの目盛りによる場合を含む）を設ける。

2）位置検出部

パルスエンコーダ等により操作対象の装置の位置を的確に検出し、制御部に位置情報を入力する。カウンターウェイト式吊物装置ではカウンターウェイト側で位置検出しても良い。

3）制御部

運転指示、設定値と位置検出部からの位置情報により適切に装置を運転し、設定位置に自動停止させる。

車速モータ等により駆動する装置では、予め所定の積載荷重でリハーサル運転することにより、停止のためのブレーキすべり量を自動入力、補正し、停止精度を確保するものとして良い。動作範囲の上限、下限等にはハードウェアによるリミットスイッチを、その外側にハードウェアによるファイナルスイッチを設け、動作範囲限度での停止、行き過ぎ防止をはかる。

3.14 過積載検知装置

観客席等に設ける吊物機構にあつては、積載量が許容値を越えた場合は、警報を発するか、駆動装置の動作を自動的に停止する装置を設ける。ただし、積載物が特定されており、積載量が許容値以内であることが荷重計算等により確認できる吊物装置ではこの限りではない。

追加工事 工事区分表

工事区分	舞台機構設備	別途	備考
吊物バトン ×2台 新設			
吊物バトン昇降装置の製作、据付工事	○		
バトンパイプ、吊り金物の製作、取付工事	○		
吊物バトン新設における操作卓ソフト更新工事	○		
二次側配管配線工事 ＊新設ウィンチ～新設制御盤	○		
二次側配管配線工事 ＊新設制御盤～既設制御盤	○		
上記に伴う結線工事	○		
工事用電源	○		
吊物バトン新設における仮設足場及び養生	○		
" 廃材・雑材処分	○		
その他記載なき事項		○	

件名

京都市立芸術大学 舞台機構追加工事

査 図

担 当

作 図

工事番号

-

図番

△0

尺 度

-(A1)
-(A3)

図面名称

舞台機構追加工事
特記仕様書・工事区分表

日付

2025.2.24.

A-0001

改定No.

日付

改定内容

改定承認

1

2

3

4

5

6

7

8

舞台機構設備 仕様表

1. 吊物機構設備

番号	装 置 名		数 量 (台)	バトン・フレーム 等		ストローク (mm)	駆 動 方 式	速 度 等		電 動 機		ワイヤー径× 吊点数	質 量(kg)					レベル設定 中間停止	同期運転	過負荷検知	備 考		
				寸法(mm)	径(mm)			(m/min)	(cm/sec)	容量(k W)	制御方式		バトン・フレーム	幕地	その他	固定積載	許容積載					合計	
1	プロセニアムサスペンションライト		1	1 6 5 0 0	φ60. 5+φ48. 6	1 4 0 0 0	電動昇降ワイヤードラム巻取式	9	1 5	3. 7	直入れ	φ 5 × 6	1 7 0	—	—	—	6 0 0	7 7 0	○	—	○	中央部1 5 0 0mm バトン着脱式	
2	プロセニアム幕		1	1 7 7 0 0	φ 4 8. 6	1 9 5 0 0	電動昇降ワイヤードラム巻取式	9	1 5	1. 5	直入れ	φ 5 × 6	1 0 0	8 0	—	—	2 2 0	4 0 0	○	—	—		
3	一文字幕－1（袖幕－1共吊り）		1	1 7 7 0 0	φ 4 8. 6	1 9 5 0 0	電動昇降ワイヤードラム巻取式	9	1 5	1. 5	直入れ	φ 5 × 6	1 0 0	1 1 0	—	—	1 9 0	4 0 0	○	—	—		
4	引割縦板	昇降	1	1 7 7 0 0	φ 4 8. 6	1 9 5 0 0	電動昇降ワイヤードラム巻取式	6～6 0	1 0～1 0 0	7. 5	IN V	φ 5 × 6	1 0 0	1 1 0	—	—	—	3 2 0	○	—	—	リアホールドレール	
		開閉	1	1 7 7 0 0	レール	—	電動開閉式	3～3 0	5～5 0	0. 7 5	IN V	—	1 1 0	—	—	—	—	—	—	—	—		
5	暗転幕		1	1 7 1 0 0	φ 4 8. 6	1 9 5 0 0	電動昇降ワイヤードラム巻取式	6～6 0	1 0～1 0 0	7. 5	IN V	φ 5 × 6	1 0 0	1 4 0	—	—	1 6 0	4 0 0	○	—	—	一文字幕兼用	
6	吊物バトン－1（袖幕－2）		1	1 7 1 0 0	φ 4 8. 6	1 9 5 0 0	電動昇降ワイヤードラム巻取式	9	1 5	1. 5	直入れ	φ 5 × 6	1 0 0	—	—	—	3 0 0	4 0 0	○	—	○		
7	照明バトン－1		1	1 7 1 0 0	φ60. 5+φ48. 6	1 6 0 0 0	電動昇降ワイヤードラム巻取式	9	1 5	3. 7	直入れ	φ 6 × 6	1 8 0	—	—	—	9 0 0	1 0 8 0	○	—	○		
8	重量バトン		1	1 7 1 0 0	φ60. 5+φ48. 6	1 5 0 0 0	電動昇降ワイヤードラム巻取式	2	≒3. 3	7. 5	直入れ	φ 1 0 × 6 × 2	1 9 0	—	—	—	6 0 0 0	6 1 9 0	○	—	○		
A 1	吊物バトン-A 1		1	1 7 1 0 0	φ 4 8. 6	1 9 5 0 0	電動昇降ワイヤードラム巻取式	1 2	2 0	1. 5	IN V	φ 5 × 6	1 0 0	—	—	—	3 0 0	4 0 0	○	—	○	IN Vはショックレス動作対応のため任意速度設定なし	
9	吊物バトン－2（一文字幕－2）		1	吊物バトン1と同仕様																			
1 0	吊物バトン－3（中割幕）	昇降	1	吊物バトン1と同仕様																			
		開閉	1	1 7 1 0 0	レール	—	手動開閉紐引き式	—	—	—	—	—	(1 1 0)	—	—	—	—	—	—	—	レール着脱式		
1 1	照明バトン－2		1	1 7 1 0 0	φ60. 5+φ48. 6	1 6 0 0 0	電動昇降ワイヤードラム巻取式	9	1 5	3. 7	直入れ	φ 6 × 6	1 8 0	—	—	—	9 0 0	1 0 8 0	○	—	○		
A 2	吊物バトン-A 2		1	1 7 1 0 0	φ 4 8. 6	1 9 5 0 0	電動昇降ワイヤードラム巻取式	1 2	2 0	1. 5	IN V	φ 5 × 6	1 0 0	—	—	—	3 0 0	4 0 0	○	—	○	IN Vはショックレス動作対応のため任意速度設定なし	
1 2	吊物バトン－4（一文字幕－3）		1	吊物バトン1と同仕様																			
1 3	吊物バトン－5（袖幕－3）		1	吊物バトン1と同仕様																			
1 4	照明バトン－3		1	1 7 1 0 0	φ60. 5+φ48. 6	1 6 0 0 0	電動昇降ワイヤードラム巻取式	9	1 5	3. 7	直入れ	φ 6 × 6	1 8 0	—	—	—	9 0 0	1 0 8 0	○	—	○		
1 5	照明バトン－4		1	1 7 1 0 0	φ60. 5+φ48. 6	1 6 0 0 0	電動昇降ワイヤードラム巻取式	9	1 5	3. 7	直入れ	φ 6 × 6	1 8 0	—	—	—	9 0 0	1 0 8 0	○	—	○		
1 6	天井反射板		1	W17440×H8600 (1 5 0㎡)	—	9 0 0 0	電動昇降ワイヤードラム巻取式	2	≒3. 3	1 1	直入れ	φ 1 4 × 6 × 2	5 2 0 0	—	6 0 0 0	6 0 0 ※	—	1 1 8 0 0	○	—	—	仕上別途（下地を含み4 0 kg/㎡想定） ※2：ダウンライト、ケーブルカゴ質量を示す	
1 7	吊物バトン－6		1	吊物バトン1と同仕様																			
1 8	吊物バトン－7（大黒幕）		1																				
1 9	吊物バトン－8（ホリゾン特幕）		1																				
2 0	東西幕（上手）	昇降	1	(7 2 0 0)	φ 4 8. 6	—	固定吊り	—	—	—	—	φ 4 × 6	4 0	3 0	—	—	—	1 2 0	—	—	—	ダブルレール	
		開閉	1	(7 2 0 0)	Wレール	—	手動開閉式	—	—	—	—	—	5 0										
	東西幕（下手）	昇降	1	(7 2 0 0)	φ 4 8. 6	—	固定吊り	—	—	—	—	φ 4 × 6	4 0	3 0	—	—	—	1 2 0	—	—	—		
		開閉	1	(7 2 0 0)	Wレール	—	手動開閉式	—	—	—	—	—	5 0										
2 1	側面反射板－1（上手）		1	≒1 4. 5㎡	—	9 4°	手動旋回式	—	—	—	—	—	4 4 0	—	5 8 0	—	—	1 0 2 0	—	—	—	仕上別途（下地を含み4 0 kg/㎡想定） 裏面、小口は黒EP塗装	
	側面反射板－1（下手）		1	≒1 4. 5㎡	—	9 4°	手動旋回式	—	—	—	—	—	4 4 0	—	5 8 0	—	—	1 0 2 0	—	—	—	仕上別途（下地を含み4 0 kg/㎡想定） 裏面、小口は黒EP塗装	
2 2	側面反射板－2（上手）		1	≒1 5. 7㎡	—	9 4°	手動旋回式	—	—	—	—	—	4 8 0	—	6 3 0	—	—	1 1 1 0	—	—	—	仕上別途（下地を含み4 0 kg/㎡想定） 裏面、小口は黒EP塗装	
	側面反射板－2（上手）		1	≒1 5. 7㎡	—	9 4°	手動旋回式	—	—	—	—	—	4 8 0	—	6 3 0	—	—	1 1 1 0	—	—	—	仕上別途（下地を含み4 0 kg/㎡想定） 裏面、小口は黒EP塗装	
2 3	側面反射板－3（上手）		1	≒1 0. 8㎡	—	9 4°	手動旋回式	—	—	—	—	—	3 3 0	—	4 4 0	—	—	7 7 0	—	—	—	仕上別途（下地を含み4 0 kg/㎡想定） 裏面、小口は黒EP塗装	
	側面反射板－3（上手）		1	≒1 0. 8㎡	—	9 4°	手動旋回式	—	—	—	—	—	3 3 0	—	4 4 0	—	—	7 7 0	—	—	—	仕上別途（下地を含み4 0 kg/㎡想定） 裏面、小口は黒EP塗装	

※赤色表記：吊物バトン新設装置、仕様

※A1、A2 吊物バトン新設における名称の不整合について、発注者と協議し名称変更等の承諾を得ること。

2. 幕設備

番号	名 称	数 量	幕地仕様	寸法 W × H	備 考
2	プロセニアム幕	1	ウールサージ ヒダなし	1 7 7 0 0 × 4 5 0 0	φ 2 7. 2下パイプ付
3	一文字幕－1	1	ウールサージ ヒダなし	1 7 7 0 0 × 4 5 0 0	φ 2 7. 2下パイプ付
	袖幕－1	1 対	ウールサージ ヒダなし	1 8 5 0 × 1 0 8 0 0	— 反射板セット時は三つ折り収納
4	引割縦板	1 対	コットンベルベット 2倍ヒダ	9 1 5 0 × 8 7 0 0	— 反射板セット時は二つ折り収納
5	暗転幕	1	ウールサージ ヒダなし	1 7 1 0 0 × 8 7 0 0	φ 3 4. 0下パイプ付 反射板セット時は二つ折り収納
6	袖幕－2	1 対	貫八別珍 ヒダなし	2 1 0 0 × 8 1 0 0	— 反射板セット時は二つ折り収納
1 1	一文字幕－2	1	貫八別珍 ヒダなし	1 7 1 0 0 × 3 3 0 0	φ 2 7. 2下パイプ付
1 2	中割幕	1 対	貫八別珍 ヒダなし	9 1 5 0 × 8 1 0 0	— 反射板セット時は二つ折り収納
1 5	一文字幕－3	1	貫八別珍 ヒダなし	1 7 1 0 0 × 3 3 0 0	φ 2 7. 2下パイプ付
1 6	袖幕－3	1 対	貫八別珍 ヒダなし	2 1 0 0 × 8 1 0 0	— 反射板セット時は二つ折り収納
2 0	大黒幕	1	1 1 号帆布 ヒダなし	1 7 1 0 0 × 9 3 0 0	φ 3 4. 0下パイプ付 反射板セット時は二つ折り収納
2 1	ホリゾン特幕	1	1 1 号帆布 ヒダなし	1 7 1 0 0 × 9 3 0 0	φ 3 4. 0下パイプ付 反射板セット時は二つ折り収納
2 2	東西幕	4 対	貫八別珍 2倍ヒダ	2 1 0 0 × 5 5 0 0	—
2 3	側面反射板－1 裏面幕地	1 対	貫八別珍 ヒダなし	2 6 5 0 × 5 4 0 0	φ 2 7. 2パイプ、取付紐付き 反射板セット時は取り外し
2 4	側面反射板－2 裏面幕地	1 対	貫八別珍 ヒダなし	2 8 5 0 × 5 4 0 0	φ 2 7. 2パイプ、取付紐付き 反射板セット時は取り外し
2 5	側面反射板－3 裏面幕地	1 対	貫八別珍 ヒダなし	1 9 5 0 × 5 4 0 0	φ 2 7. 2パイプ、取付紐付き 反射板セット時は取り外し
2 6	(バルコニー下部) サイドプロセニアム幕	1 対	貫八別珍 ヒダなし	1 5 0 0 × 5 4 0 0	1 F用、吊り下げ用φ 2 7. 2パイプ含む 反射板セット時は取り外し、天井仕込み金物は建築工事
2 7	(バルコニー下部) サイドプロセニアム幕	1 対	貫八別珍 ヒダなし	1 2 5 0 × 2 4 0 0	3 F用、吊り下げ用φ 2 7. 2パイプ含む 反射板セット時は取り外し、天井仕込み金物は建築工事
2 8	(バルコニー下部) サイドプロセニアム幕	1 対	貫八別珍 ヒダなし	1 2 5 0 × 4 1 0 0	4 F用、吊り下げ用φ 2 7. 2パイプ含む 反射板セット時は取り外し、天井仕込み金物は建築工事
2 9	(バルコニー手摺紐結び) ダメ黒	1 対	貫八別珍 ヒダなし	2 5 0 0 × 1 1 6 0 0	取付紐付き 反射板セット時は取り外し
		1 対	貫八別珍 ヒダなし	1 8 0 0 × 1 1 6 0 0	取付紐付き 反射板セット時は取り外し
		1 対	貫八別珍 ヒダなし	1 8 0 0 × 1 1 6 0 0	取付紐付き 反射板セット時は取り外し
		1 対	貫八別珍 ヒダなし	1 2 0 0 × 1 1 6 0 0	取付紐付き 反射板セット時は取り外し

吊物機構設備 質量内訳表

番号	項目	内容	備 考
I	バトン・フレーム	・バトン+吊バンド+ワイヤー質量 ・反射板、スクリーンフレーム質量 ・幕レール質量	・ () 内数値は着脱式のものを示す
II	幕地	・幕地+裾パイプ質量	・ () 内数値は着脱式のものを示す
III	その他	・反射板仕上げ+下地質量	
IV	固定積載	・コンセントボックス質量 ・ケーブルかご+ケーブル質量 ・反射板内ダウンライト、スピーカー質量	・舞台機構に固定される照明・音響関係質量
V	許容積載	・照明器具+移動型調光器質量 ・各種演出装置質量	
VI	合計	・I + II + III + IV + V	・昇降可能な最大質量 ・ () 内数値は含まない

改定No.	日付	改定内容	改定承認	備考	件名 京都市立芸術大学 舞台機構追加工事	査 図 —	担 当 —	作 図 —	工事番号	図番
									— — (A1) — (A3)	— — —
									日付 2025. 2. 24.	A-0002

3. 昇降床																
番号	装 置 名	数量	寸 法 W [mm] × D [mm]	面積 [㎡]	ストローク [mm]	駆 動 方 式	速度	電動機		自重 [k g]				積載荷重 [k g/㎡]		備 考
							(m/min)	容量 [k w]	制御方式	フレーム	仕上げ	機器	合計	動作時	静止時	
S 1	オーケストラ迫	1	1 8 7 2 8 × 4 3 8 8 (変形)	≒ 8 1	2 7 0 0	電動昇降スパイラリフト式	1. 5	7. 5 × 2	直入れ	9 7 2 0	5 8 6 0	8 0 0 0	2 3 5 8 0	1 0 0 (8 1 0 0 k g)	5 0 0 (4 0 5 0 0 k g)	停止ヶ所：－2 7 0 0 ～ ± 0 仕上げ重量は、下地を含めて 7 0 kg/㎡で想定（建築工事）

4. 客席ワゴン																
番号	装 置 名	数量	寸 法 W [mm] × D [mm]	面積 [㎡]	ストローク [mm]	駆 動 方 式	電動機		席数 [席]	自重 [k g] ※ 1				着床時積載荷重 [k g/㎡]	自動 停止ヶ所	備 考
							容量(kw)	制御方式		機器	仕上げ	椅子	合計			
S 2	客席ワゴン（上手）	1	3 4 3 7 × 1 8 4 0	≒ 6	－	手押し移動式	－	－	1 2	3 0 0	2 4 0	3 6 0	9 0 0	3 0 0 (1 8 0 0 k g)	－	位置決めピン× 2 仮設ガイドレール 椅子 及び 床・幕板仕上げ（下地込み）は建築工事
S 3	客席ワゴン（中央－1）	1	5 9 1 4 × 1 8 4 0	≒ 1 1	－	手押し移動式	－	－	1 8	5 5 0	4 4 0	5 4 0	1 5 3 0	3 0 0 (3 3 0 0 k g)	－	位置決めピン× 2、仮設ガイドレール S 4 に接する側に着脱式椅子× 1 脚 "
S 4	客席ワゴン（中央－2）	1	5 9 1 4 × 1 8 4 0	≒ 1 1	－	手押し移動式	－	－	1 8	5 5 0	4 4 0	5 4 0	1 5 3 0	3 0 0 (3 3 0 0 k g)	－	位置決めピン× 2、仮設ガイドレール S 3 に接する側に着脱式椅子× 1 脚 "
S 5	客席ワゴン（下手）	1	3 4 3 7 × 1 8 4 0	≒ 6	－	手押し移動式	－	－	1 2	3 0 0	2 4 0	3 6 0	9 0 0	3 0 0 (1 8 0 0 k g)	－	位置決めピン× 2 仮設ガイドレール "

5. 操作・制御機器					
番号	装 置 名	数量	寸 法 W [mm] × D [mm] × H [mm]	形式	備 考
1	吊物機構 制御盤	6	1 0 0 0 × 3 5 0 × 1 6 0 0	自立型	
2	床機構 制御盤	2	8 0 0 × 3 5 0 × 1 3 0 0	自立型	
3	舞台機構 操作盤	1	1 0 0 0 × 3 5 0 × 1 6 0 0	移動型	舞台袖のコネクタ盤にケーブルにて接続 吊物ボタン × 2 台 新設における操作卓ディスプレイ表示内容更新
B 1	舞台機構 制御盤	1	8 0 0 × 4 0 0 × 1 5 0 0	自立型	下段スノコ上に設置、吊物ボタン× 2 台新設分

※操作・制御機器 改修項目

・吊物ボタン2台追加における舞台機構制御盤を下段スノコに新設すること

・吊物ボタン2台追加における二次側配管配線を新設すること

・操作卓について、既設ケーブルに接続可能な延長ケーブル（≒3m）を新設すること

・納められている既存の操作卓を使用し、操作制御システムを更新すること

・操作卓ディスプレイ表示内容の以下項目について、発注者と協議の上、更新すること

1. 吊物断面表示

2. 各設定画面

※一次側電源容量：3 φ 3 w 2 0 0 V 6 0 H z 2 8 K V A ※吊物機構制御盤

：1 φ 2 w 1 0 0 V 6 0 H z 1 K V A ※吊物機構制御盤

：3 φ 3 w 2 0 0 V 6 0 H z 2 2 K V A ※床機構制御盤

：1 φ 2 w 1 0 0 V 6 0 H z 1 K V A ※床機構制御盤

アース：電気計装用アース C 種(単独) ※吊物

：筐体アース D 種 ※吊物・床共

F					備考			件名 京都市立芸術大学 舞台機構追加工事	査 図	担 当	作 図	工事番号	図番
												－ (A1) － (A3)	A-0003
												日付 2025.2.24.	
	改定No.	日付	改定内容		改定承認			図面名称 舞台機構追加工事 仕様表（2）	－	－	－		

1

2

3

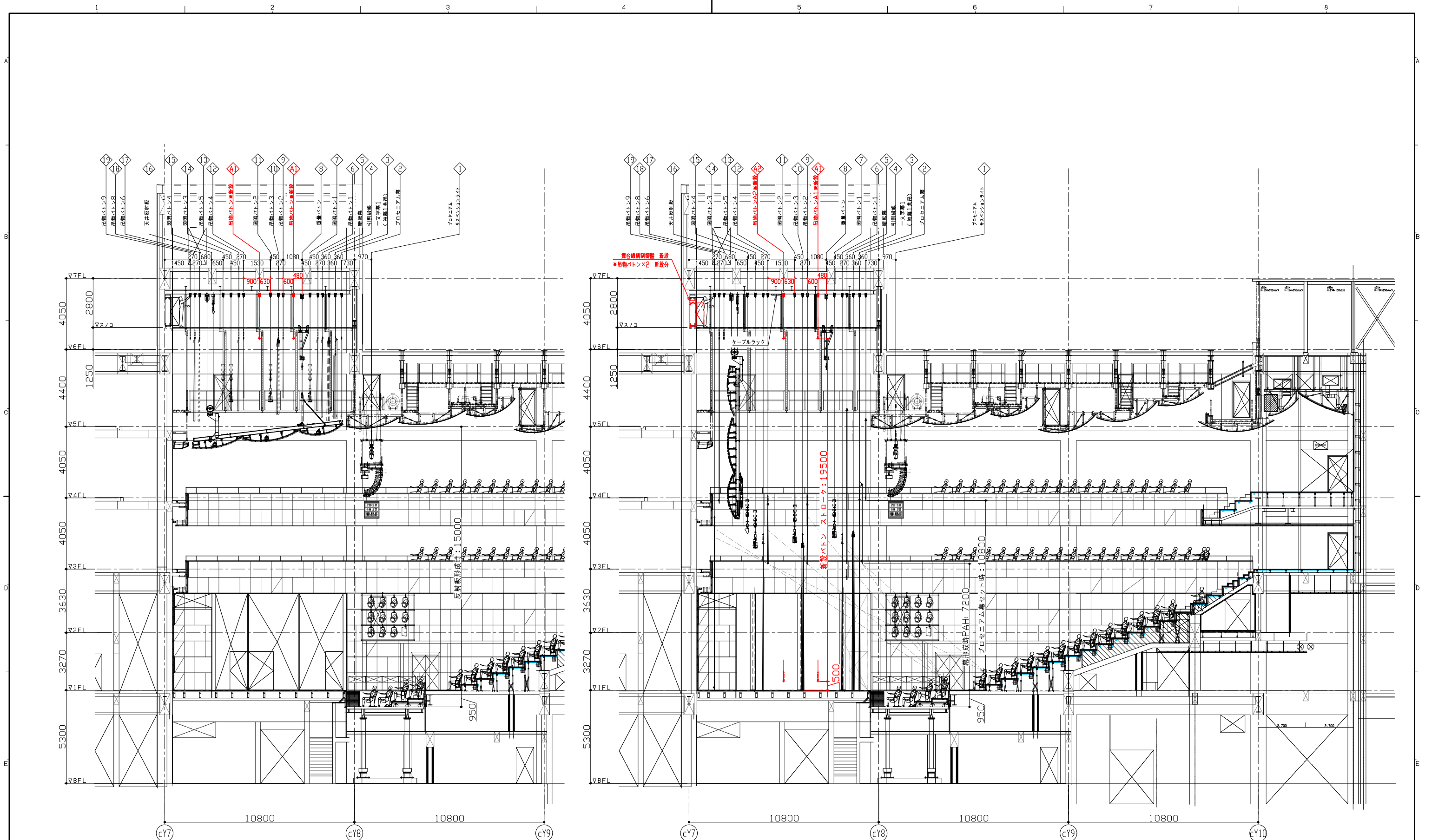
4

5

6

7

8

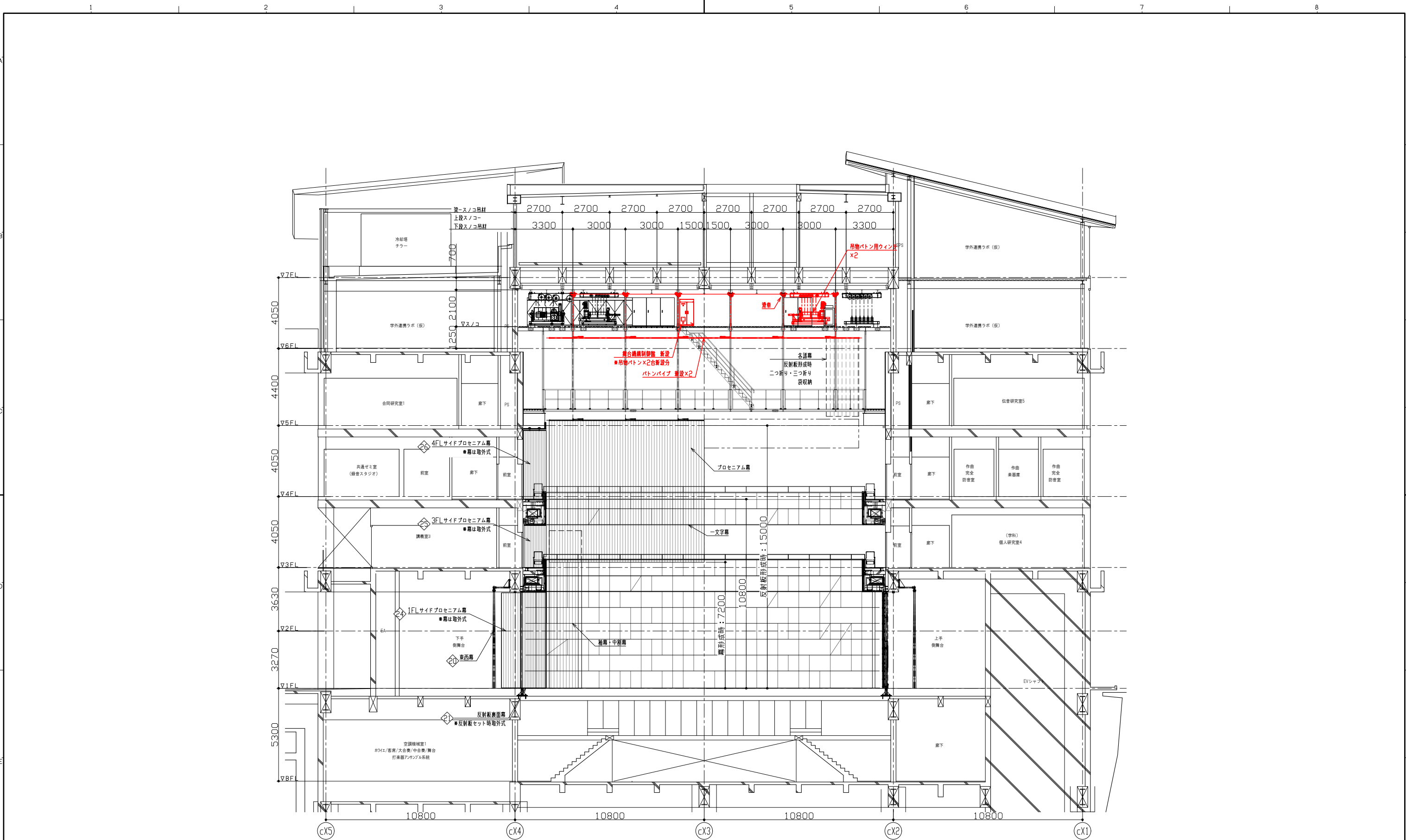


反射板セット

幕セット

赤色：吊物ボタン 新設位置
※吊物配置について、現地調査し発注者と協議の上承諾を得ること

3 2 1				備考				件名 京都市立芸術大学 舞台機構追加工事				査 図		担 当		作 図		工事番号 - 尺度 1/100 (A1) 1/200 (A3)		図番 0 A-0004											
改定No.				日 付				改 定 内 容				改定承認				図面名称 舞台機構設備 吊物配置断面図				-		-		-		日付 2025.2.24.					
1				2				3				4				5				6				7				8			



吊物配置正面図

赤色：吊物バトンに関わる新設機器
※吊物配置について、現地調査し発注者と協議の上承諾を得ること

			備考				件名 京都市立芸術大学 舞台機構追加工事	査 図	担 当	作 図	工事番号	図番 					
													尺 度				
													1/100 (A1) 1/200 (A3)				
改定No.	日 付	改 定 内 容	改定承認				図面名称 舞台機構設備 吊物配置正面図	—	—	—	日付 2025.2.24.	A-0005					
1			2			3		4		5		6		7		8	